

ロシアJIプロジェクトにおける2回目の排出権発行について

油田随伴ガス回収・有効利用による75万トン分の排出権発行をロシア政府が認定

記者各位

JX日鉱日石エネルギー株式会社
三菱商事株式会社

JX日鉱日石エネルギー株式会社(以下、JXエネルギーという。社長:木村 康)と三菱商事株式会社(以下、三菱商事という。社長:小林 健)は、ロシア連邦石油企業大手のガスプロムネフチ社と共同で推進しているJIプロジェクト^{※1}において2回目となる、75万トン分の排出権が発行されましたので、お知らせいたします。

ガスプロムネフチ社は、ロシア連邦ヤマルネネツ自治区に保有するイエティブーロフスコエ油田において原油を生産する際、従来、副生される随伴ガス^{※2}を燃焼していましたが、本プロジェクトのもと、2009年8月から、随伴ガスを回収し、ロシア国内でガス燃料等として有効活用しています。

この取り組みは、ロシア政府よりJIプロジェクトとして認定されており、2009年8月～12月までの温室効果ガス削減分として、既に29万トン分の排出権が発行されています。今回、2010年1月から同年12月末までの期間のCO₂排出削減量75万トンに対し、削減量のモニタリング、第三者認証機関の審査を経て、ロシア政府より、2回目となる排出権75万トンが新たに発行されました。今後は、2012年12月末までに、さらに約150万トンの排出権発行を見込んでおります。

JXエネルギーおよび三菱商事はこうした温室効果ガス排出量削減事業^{※3}の推進により、地球温暖化防止に貢献してまいります。

※1 JIプロジェクトとは、京都議定書に定められている温室効果ガス削減の手法のひとつで、先進国同士が協力していずれかの国内で温暖化ガス削減事業を実施し、そこで生じた排出削減量に基づき、事業を実施している国より排出権が発行されるものです。JIとは“Joint Implementation”(共同実施)の意。

※2 原油生産の際に副生するガスで、メタン、エタン、プロパン等の成分からなる。安全上の理由から、燃焼処理されることが多い。

※3 JXエネルギーは、グループの石油開発会社である日本ベトナム石油(株)が原油生産を行っているベトナム・ランドン油田において、2006年に随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとしては、世界で初めてCDM(クリーン開発メカニズム)の認定を受けました。
三菱商事は幅広い分野・地域でCDMおよびJIプロジェクトの実績を多数保有しており、国連登録済み66案件(2011年11月30日現在)を含め100を超える排出権事業を自社開発し排出権の創出を実施中です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

JX日鉱日石エネルギー株式会社	広報部	TEL:03-6275-5046
三菱商事株式会社	広報部	TEL:03-3210-2511

● 別添資料

 「ガスプロムネフチ社の概要」および「プロジェクトの概要」(PDF:149.8 KB/1ページ)